



株式会社 log build

☎0466-90-3381
https://www.log-build.com



7万現場以上で活用が進む シェアNo.1の遠隔管理特化サービス

log build(神奈川県横浜市、中堀健一社長)では、リモート施工管理に特化したアプリケーション(360度VR・ビデオ通話・報告書)・標準施工要領書のオリジナルデータ作成・代行、品質や安全管理のチェックシート作成代行などの、遠隔管理におけるノウハウやツールを一式で提供。また、実際に横浜の“みなとみらい”から全国の職人へビデオ通話を繋いで品質チェックを代行するサービスや安全チェックを同一基準チェックする「リモートダイコウ」を日々稼働中。「お願いだから、誰か手伝って欲しい。」という困りごとの解決が多くの建築会社に好評だ。



現場移動を半減させる

Log Systemが変える リモート現場管理と代行サービス

従来は現場に「行く」ことが当たり前だった施工管理に遠隔化を取り入れる会社が増加中。

ハウスメーカーから中小の工務店まで、現場の生産性を向上し、利益を生み出している。

品質管理、安全管理、工程管理、顧客対応、職人対応など、現場管理者が行わないといけない業務をスリム化し、

生産性を向上した事例を2つ紹介する。

case 1

広島県 地場大手としての責任を果たす
「品質統一・安全管理の徹底・CS向上・働き方改革」
株式会社 トータテハウジング

遠隔チェックを行っている
工務店のノウハウが
導入の決め手に

広島市をメインに注文・請負分譲・下請け分譲を年間約550棟手掛けるトータテハウジング。ツーバイフォー工法の高気密・高断熱かつ制震ダンパーを標準採用した注文住宅を中心に、顧客の要望に応じて工法を変更するなど柔軟に対応している。また、外部に依頼することなく自社でアフターフォローも行うなど、顧客に寄り添った家づくりが特長となっている。トータテハウジングでは2023年6月、翌年に迫った時間外労働の上限規制など労働基準法の改正に対応し、業務の効率化を図るために「Log System」を導入。ダイテック社の現場管理アプリ「現場Pee-us」と連携している点も非常に良かった。西本哲也執行役員 建築部長は、



左:実務責任者であるトータテハウジングの西本執行役員 右:全ての現場情報をLog Systemでデータベース化している

を推進。

「リモートによるチェック体制は、移動を少なくするという意味合いではなく、社員の時間を本主に集中すべき業務に時間を投資すること。担当者任せにするのでは無く、会社として全棟に本社の目を入れることが大事」(西本執行役員)と語る。

本社による遠隔管理体制は日々進化しており、現在ではリモートチェックだけではなく、業者朝礼の遠隔化など、現場と事務所、そして本社がデジタルでつながる体制が構築できている。また、新人教育にもLog buildのDX化は役立っている。

「撮影データを幅広い業者に閲覧可能とすることで、業者からも高い信頼を得ています」(西本執行役員)。今後も広島での「トータテハウジング」の地場大手としての責任を元に、「全棟同一基準の安心、安全」を追求していく。

トータテハウジング

case 2

社長の現場業務負担を軽減し
本業に集中できる体制を構築
株式会社 菅谷工務店

「現場リモートチェックの
代行サービスが凄い！
本当に丁寧で助かります」

千葉県香取市で地域密着型の経営を続ける菅谷工務店は、「センターホーム」を屋号に年間約15棟の新築注文住宅やリフォームを手掛けている。営業マンを置かず、一級建築士の菅谷伊佐央社長自らが顧客対応からプランニングまで一貫して担当するのが特徴だ。

2018年に先代から社長を引き継いだ菅谷伊佐央社長は、現場管理の業務負担が大きく、品質管理まで手が回らないという課題を抱えていた。改善策を模索する中、21年に「log build」を知り、同社の中堀社長が経営する湘南に位置する建築会社eomooを訪問。中堀社長から「ベンの無い工務店」のDX事例を学び、導入を決断した。



左:全棟、現場をリモート検査することで品質管理を担保 右:菅谷伊佐央社長(前列中央)「リモートダイコウ」で支援するlog buildのスタッフ

「DXの浸透には時間を要し、ベテラン監督や協力業者への定着には約1年を要した。そんな中、24年にlog buildが、リモートチェックの代行事業

center home
センターホーム

「リモートダイコウ」を開始した。「実際の工務店でリモート体制を確立しているlog buildさんなら安心して任せられる」と判断し、全棟採用を決めた。「log buildの担当の高橋さん、そしてリモートダイコウの統括責任者をしている宮本さんは、私自身の現場管理負担が無くなるように、沢山提案をしていただき、改善案を教えてくださいました。どうしても監督を採用するとなると経営者としてはリスクを感じるが、外注先としてlog buildさんがいることは、とても安心します。360度VR空間も工事期間中全て残り、また品質チェックの報告書も綺麗にまとめてくれる。これだけのスキルがある人材を雇用するのは大変だ」と菅谷社長。

今後、会社のブランド価値を高めていく予定だ。